

# 東大和

平成22年(2010年)  
5月1日



# 市議会 だより

## 228

発行：東大和市議会  
編集：議会広報委員会

〒207-8585 東大和市中心3-930  
TEL 042(563)2111 FAX 042(563)5926  
E-mail: gikai@city.higashiyamato.lg.jp

## 今号の主な内容

22年度市長施政方針に対し  
各会派等が代表質問

3ページ

22年度予算を可決  
8名が予算案に対する討論

4・5ページ

議員の期末手当を削減

2ページ

市長・副市長・教育長の  
期末手当を削減

2ページ

職員の給与、期末手当等を削減

2ページ

食品表示制度の  
抜本改正を求める意見書

2ページ

「ヒロシマ・ナガサキ議定書」  
NPT再検討会議に関する意見書

2ページ

国民健康保険税の値上げを可決

2ページ

## もくじ

- 2 3月議会、2月臨時会の議題から
- 3 市長施政方針に対する代表質問
- 4・5 22年度予算案に対する討論
- 6 一般質問 各議員が取り上げたテーマ  
市政を聞く① 【長瀬・二宮・佐村】
- 7 市政を聞く②  
【蜂須賀・御殿谷・中間・尾崎(利)・粕谷(久)・押本】
- 8 市政を聞く③  
【尾崎(信)・中村・小林・西川・関野・吉野】
- 9 委員会での議論
- 10 一部事務組合議会、広域連合議会、協議会報告  
・議長が出席した会議等
- 11 topicsあれこれ・陳情の要旨
- 12 議案等の結果・閉会中に行われた会議 ほか

## 3月議会の日程

2日	開会、市長施政方針表明・議案審議等・議案、陳情の付託など
4日	施政方針に対する代表質問
5日	
8日～11日	一般質問
12日	厚生文教委員会
15日	総務委員会
16日	建設環境委員会
17日～18日	予算特別委員会
23日	予算特別委員会 議会運営委員会
26日	議案審議・委員会審査報告・議員提出議案審議・議員派遣議決など、閉会



## 街の ひとコマ

「さくら香る  
武蔵大和駅」

撮影：尾崎 信夫さん  
(湖畔在住)

この欄に掲載する写真を募集しています。

応募のお問い合わせは  
議会事務局へ。



# HOT NEWS

## 3月議会の議題から

●議案の結果については最終面の議案等の結果もご参照ください。  
●文中の条例・陳情などの名称は一部省略しています。

### 食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正を求める意見書を可決

本意見書を全会一致で可決し、3月29日に衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣ほかへ送付しました。

(意見書要旨) 繰り返される加工食品原料の産地偽装事件や毒物混入事件を受けて、多くの消費者が食の安全・安心のために国産食品を求め、自給力向上を望んでおり、加工食品の原料産地の表示義務化を願っている。

また、多くの消費者が安全性などに不安を抱き、「遺伝子組み換え(GM)食品を食べたくない」と考えているにも関わらず、表示制度の欠陥により、知らずに食べ続けているのが現状である。

食品安全委員会では、異常の多発原因について解明できないまま「安全」と評価し、体細胞クローン由来食品の商品化が間近に迫ってきた。多くの消費者は安全性に

不安を抱き、「クローン由来食品を食べたくない」と考えている。食料の自給力向上、食の安全・安心の回復のために、食品のトレーサビリティとそれに基づく表示制度の抜本的な見直しが必要である。消費者が買う、買わないを自ら決めることのできる社会の実現をめざすべきと考え、以下の3点について、食品表示制度の抜本改正を求めるものである。

1. 加工食品の原料のトレーサビリティと原料産地の表示を義務化すること。
1. 全ての遺伝子組み換え食品・飼料の表示を義務化すること。
1. クローン家畜由来食品の表示を義務化すること。

### 人権擁護委員に鈴木一徳氏を適任

人権擁護委員の候補者の推薦について鈴木一徳氏(すずき かずのり、62歳 向原在住)を、全会一致で適任としました。

鈴木氏は、平成11年4月から市立第十小学校校長として5年間勤務され教育行政、人権教育に精通

されているとのこと。また、地域での人望も厚く人柄も温厚であることから、人権擁護委員の候補者として推薦したいと提案されました。

任期は、平成22年7月1日から25年6月30日までの予定です。

### 「ヒロシマ・ナガサキ議定書」NPT再検討会議での採択に向けた取組を求める意見書を可決

本意見書を全会一致で可決し、3月29日に衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣ほかへ送付しました。

(意見書要旨) 昨年4月のオバマ米大統領の「核兵器のない世界」に向けた演説以降、米国とロシアとの第一次戦略兵器削減交渉の後継条約の交渉開始、核不拡散・核軍縮に関する国連安全保障理事会首脳級会合における全会一致での決議の採択など、核兵器廃絶に向けた世界的な流れは加速しています。

こうした流れを確実なものとし、核兵器廃絶の早期実現のためには、期限を定めて各国政府が核兵器廃絶に取り進む必要があります。広島・長崎両市と世界の多くの都市が加盟する平和市長会議では、2020年までに核兵器を廃絶するための「ヒロシマ・ナガサキ議定書」を今年のNPT再検討会議で採択されることを目指しています。

平和都市、東大和市の市議会は、国会及び政府において、NPT再検討会議で同議定書を議題として提案し、採択に向け各国政府に働きかけるよう強く要請します。

### 国民健康保険税の値上げを可決

国民健康保険税条例の一部改正を、厚生文教委員会での審査を経て可決しました。

国民健康保険税の医療費分については、これまで10年間改定を見送り、一般会計からの繰入金に大きく依存して運営されてきました。が、一般会計から補填することが困難な状況になりました。また、22年度は20年度分の前期

高年齢交付金の精算年度で、多額の還付金による減額が見込まれることから、税率等の改定が提案されました。

主な改正内容は、基礎課税額の課税限度額を47万円から法定課税限度額の50万円に、基礎控除後の総所得金額に乘じる税率を100分の4・40から100分の4・45に改正するものです。

### 小平・村山・大和衛生組合におけるごみ処理事業の適正な執行と3市共同資源物処理施設(リサイクルセンター)建設について抜本的な見直しを求める決議を可決

本決議を可決し、3月29日に小平・村山・大和衛生組合管理者に送付しました。

1. 衛生組合は構成3市のごみ処理事業の適正な執行を行うこと。
2. 施設建設は、推進市民懇談会の意見を尊重し、白紙を含め抜本的見直しを行うこと。
3. プラスチックごみの圧縮処理を伴うリサイクルは、施設建設だけでなく、民間委託などを中心に、低コストで行うこと。
4. これらについて、早期に組合内で合意を図り、公表すること。

# 2月臨時会の議題から

### 議員の期末手当を削減

議員提出議案、議員報酬等に関する条例の一部改正を全会一致で可決しました。

市議会では、これまで議会の簡素化や効率化、議会費予算の削減に努め、昨年5月に出された人事院勧告等を尊重し、平成21年6月の期末手当を0.2カ月削減しました。その後厳しい経済・雇用情勢が民間の給料に反映されたことを受けて、議員の給料に削減を求め、平成22年3月期末手当を0.05カ月削減することを議会の総意により提出しました。

### 市長、副市長、教育長の期末手当を削減

特別職職員の給与等に関する条例の一部改正を可決しました。

市長、副市長、教育長は厳しい財政状況を踏まえ、平成20年4月1日から給料を4%削減していましたが、給料月額を算定基礎とする期末手当も同様に4%の削減を実施しています。

### 職員の給与、期末手当等を削減

職員の給与に関する条例の一部改正を可決しました。

主な改正理由として、本市職員の給与と制度は東京都の給与制度に準拠しており、都人事委員会勧告に準じて給与改定を行うものです。

- 1 点目は、公民較差は正のため例月の給与を0.35%引き下げ、1人平均月1440円減額します。
  - 2 点目として、平成22年度以降の期末手当の支給月数を0.35カ月削減し、1人平均年間14万4千円減額します。
  - 3 点目は、都では給与構造改革として平成22年1月から地域手当を1%引き上げ、その分に相当する給料0.85%を引き下げています。当市では地域手当を据え置いたまま0.85%引き下げ、実質月約3470円給与の減額となります。
  - 4 点目は、平成22年3月の期末手当を0.15カ月削減したことから、さらに所要の調整として0.05カ月の月差引き、0.04カ月とするものです。
- このほか、都に準じた技能労務職の給与水準の引き下げ等が提案されました。



# 市長施政方針に対する 代表質問

## 会派代表6名・無所属1名

3月議会初日に表明された平成22年度の市長施政方針に対し、議会各会派等が行った代表質問の要旨を掲載します。  
なお、市長施政方針は市報(4月1日号)をご覧ください。

### 市民生活と福祉を守るための 財源確保と歳出削減の取り組みを

公明党  
中間 建二

**問** 財政基金が底をつき、基金に頼らない財政運営の中で、財源の確保、基金の積み立ての成果は。

**答** 第3次行革大綱や再生プランに基づき、民間活力の導入と職員定数の管理で人件費の削減を行い、事務管理経費も削減してきた。基金の積み立ても努力したい。

**問** 全事業の事務事業評価の実施と市民への公表を早急に実施せよ。

**答** 3年間で全事業を評価し、結果の公表を毎年度行っていく。

**問** 学校校舎及び体育館は、いつまでに耐震工事が完了するのか。

**答** 計画の前倒しを進め、校舎は平成23年度中を目途に、体育館も平成24年度中に完了させたい。

**問** 小・中連携教育の推進は、どのように取り組んでいくのか。

**答** 9年間を通じた系統的指導方針、指導計画の作成を図っていく。

**問** 文化芸術振興条例の制定を視野に入れた文化芸術振興ビジョンの取りまとめについて伺う。

**答** 他市の芸術文化振興に関するプラン等の情報収集に努め、研究検討していきたい。

**問** 乳がん検診、子宮がん検診の無料クーポン券の配布事業の成果についての認識と取り組みは。

**答** 無料クーポン券の個別配布により受診の促進に大きな成果があった。今年度も同様に実施する。

**問** 公明党が取りまとめた新・介

護公明ビジョンへの対応は。

**答** 特養ホームの待機者の解消と小規模多機能型住宅介護、介護支援ボランティアを推進していく。

**一人と自然が調和した生活文化都市  
東大和」をつくる努力を**

自由民主党新政会  
関田 貢

**問** すべての歳入について確保できるのか。予算どおり収入されない事態が生じたときの対策は。

**答** 収納努力により自主財源の確保を図り、国や都に積極的な財源確保を働きかけたい。

**問** 小学校校庭、校舎、屋上の芝生化事業計画を伺う。

**答** 1校でも多く芝生化が実現するよう、学校関係者などに積極的に働きかけたい。

**問** ランドセル来館の学童保育と放課後子ども教室の事業統合の考え方について伺う。

**答** 多くの課題があるので、先進事例を参考に調査、研究したい。

**徹底した歳出の見直し財政の健全化  
市長は市民の期待にこたえよ**

自由民主党同志会  
関田 正 民

**問** 将来地域交流室を各学区ごとにつくる計画はあるのか。

**答** 地域の方々との交流が深められるよう、第三中学校に設ける。余裕教室の活用に取り組みたい。

**問** (仮称)総合福祉センター建設事業が延期になり、かわりの対策を考えているのか。

**答** 障害者の一般相談及び就労生活支援センター事業の実施、みのり福祉園の生活実習の定員拡大、地域包括支援センターの開設などを検討、研究したい。

**問** 市職員採用試験などで東大和市民を優先に、また市民枠を設けるとか、そのような考えはあるか。

**景気悪化に苦しむ市民にこれ以上の負担を押しつけることは許されない**

日本共産党  
西川 洋 一

**問** 元気な高齢者の施策について介護保険事業、後期高齢者医療事業をどのように連携して進めていくのか伺う。

**答** 介護予防事業に力を注ぎ、医療や健康づくりなど高齢者が安心して暮らせるよう努めていきたい。

**問** 特定不妊治療の一部公費助成について、市民への周知方法は。

**答** 市報・ホームページ等で周知したいと考えている。

**問** 都市計画道路3・4・17号線桜街道の促進についての検討は。

**答** 今後優先的に整備していく路線に選定している。引き続き事業計画の検討を進めたい。

**問** 地方公務員法で規定があり、現行では市民優先、市民枠を設けることは困難である。しかしながら何らかの方策で対応をしていきたい。

**問** 財源不足の解消と財政構造の改善の具体的な内容を伺う。

**答** 元気な東大和再生プラン平成21年度版をもとに、歳入・歳出の対策に取り組んでいきたい。歳入は、普通財産の売却、受益者負担の適正化や広告等の収入による自主財源確保、歳出は、人件費の抑制、事務事業の見直しによる民間委託等の導入により、効率的な行政運営を徹底したい。

**問** 指定管理者制度の導入を図ることで見直しをした。今後適正な職員定数の管理に努めたい。

**問** 緊急に保育園の待機児をゼロにする計画を持つべきではないか。

**答** 民間保育園に増改築工事の補助を実施し、23年度より定員の拡大を行う。

**問** 障害者が生きるために必要な施策に対し、市の独自支援策を行うべきではないか。

**問** 立川飛行場環境対策会議に、市の実態を報告し、飛行ルートの変更等を要望している。

**「財政の健全維持、向上を目指す」とあるが  
当市の財政が本当に健全なのか**

民主党  
大后 治 雄

**問** 当市の財政が本当に健全であるのか伺う。

**答** 実質収支率や経常収支比率の数値から判断し健全な状況と考える。引き続き健全化に努めたい。

**問** 学校施設の芝生化実施について、今後の実施予定は。

**答** 平成22年度に四小で実施、今後多く実現するよう働きかけたい。

**問** 介護保険事業の具体的施策は。

**答** 介護保険事業の見直しに努めたい。納税率の向上については、納税率へのきめ細かな対応を推進したい。

**学校芝生化と空き教室活用で  
学校を「コミュニティ」再生の核に**

政策の会  
関野 杜 成

**問** 四小の校庭・屋上の芝生化の維持管理にかかる費用及び維持管理体制について伺う。

**答** 芝生化にかかる工事などの事業費は、地域との協働による維持管理体制を構築することで、都の補助金を見込んでいく。

**問** 学校開放の問題点と今後の利用拡大の考えについて伺う。

**答** 教育活動に支障がないよう配慮し、今後一層地域に開かれた学校を目標に、余裕教室の活用に取り組みたい。

**問** 「高齢化に対応するため、学校の協力を得るなど」とあるが、具体的に何をを行うのか。

**答** 地域支援、余裕教室の活用や自主グループと連携を図りながら事業を推進し、高齢者が安心して暮らせるよう努めてまいりたい。

**問** 学校給食施設整備計画の課題である場所について伺う。

**答** 答申では、具体的候補地は桜が丘市民広場の一部としているが、より広い用地があれば望ましい。

**問** 地域防災計画の修正に、市民意見や公募など考えているのか。

**問** 防炎会議等を通して広く市民の意見を求めていく。

**問** 駅周辺の自転車需要が増していくことが予想されることへの対応は、どのようにしていくのか。

**答** 今後自転車等駐車場の有効利用と、放置自転車対策に努める。

**市長の施政方針では  
明るい見通しはあるのか**

無所属  
粕谷 久 美 子



# 平成22年度7会計予算を可決

## 6会派・無所属2名の 予算案に対する討論



### 【予算特別委員会】

(開催日) 17・18・23日  
(委員長) 中間 建 二 貢  
(副委員長) 関 田 二 貢

平成22年度一般会計・6特別会計予算案は、予算特別委員会で3日間審査したのち、最終日26日の本会議にて採決を行い、一般会計予算、国民健康保険事業・老人保健事業・介護保険事業・後期高齢者医療特別会計予算を賛成多数で、下水道事業・土地区画整理事業特別会計予算を全会一致で原案どおり可決としました。

採決に先立ち6会派の代表者と無所属議員2名が、予算案に対し討論を行いましたので、その要旨を掲載します。

**国保税値上げに断固反対。経済危機下、市政の最大の課題は、暮らしを守り、市民負担を軽減すること。**

日本共産党 尾崎利一

日本共産党を代表し、一般会計予算、国保・老健・介護・後期医療各特別会計予算に反対する。一般会計について、10年間で市民の所得は40万円―1割減少。直近2年はさらに深刻。定率減税の廃止などで市民税だけで5億7千万円の負担増。他方、市の財金は5億円積み増した。国が8年連続で抑制した地方一般歳出が3年連続で増加するなどしたためだ。平成19年参院選に示された、暮らしをこれ以上いじめめるなどの世論が政治を前に動かした。しかし市は国保税を1億800万円値上げ。経済危機から暮らしを守る、政治の最大の課題に背を向けるものだ。学校耐震化の努力や認可保育園の

増改築による定員増等、市民要望の一部取り入れられた。以下要望する。嘱託、臨時職員の待遇改善公契約条例制定。総合福祉センター早期建設と延期に伴う代替措置。保育園や学童保育の待機児解消。3市共同資源化施設の現想定地への建設撤回。農業予算抜本拡充。リフォーム助成拡充。桜が丘広場は削らず、学校給食施設の検討は学校給食法に基づいて計画し直す。国民健康保険事業について、国保税の値上げに断固反対。滞納を理由に医療権を侵害すべきでない。介護保険事業。必要な介護が適正に給付されるよう求める。後期高齢者医療事業について、同医療制度はただちに廃止すべき。

**厳しい経済状況に立ち向かい、市民の暮らしを守るため最大限の努力と工夫を求める**

公明党 尾崎信夫

公明党を代表し、一般会計予算並びに6特別会計予算に賛成の立場で討論する。

一般会計は市税の減収が進む中、元氣な東大和再生プランに基づき一般職給与の削減、民間委託の推進等財源確保努力を評価する。武蔵大和駅のエレベーター、障害者対応トイレ等の補助金計上を評価する。保育園、学童保育所の待機児童対策の着実な実行を求める。子ども手当は、民主党が主張した全額国費で賄うことは異なり、公明党が主張してきた児童手当の拡充である。子育て支援全般の拡充を求める。ヒブワクチン接種費用・特定不妊治療費の一部助成、乳がん検診定員増等、市民の

健康維持に努力したことを評価する。雇用情勢が非常に厳しい。市民への就職情報の提供を望む。学校の耐震補強工事は国庫補助の動向を掌握し促進を望む。国保会計は保険料が3年越しの改定。高齢・低所得世帯に配慮し健全化に努力した。収納率向上の努力を望む。下水道会計は歳出削減で一般会計からの繰入金抑制が図られた。区画整理会計は引き続き移転補償交渉を進め、着実な事業を望む。介護保険会計は利用者側に立ったサービスと予防の施策を望む。後期高齢者医療会計は新制度創設までの間、高齢者の安心適正医療の円滑な事業運営を望む。

**財政が健全であると強弁する現市政にはもはや打つ手を全く期待できない**

民主党 一宮由子

民主党を代表し、一般会計予算に反対、ほか6特別会計予算に賛成の立場で討論を行う。4期を重ねた尾又市政も残すところあと1年となったが、財政状況は相変わらずであり、それでも財政が健全であると強弁する現市政には、もはや打つ手を全く期待できない状況になってきている。説明責任一つと見てても、基本的な認識が市民感覚とは、ずれていると感じられるのは残念だ。特に行政に大所高所からの見地が全く見受けられないのは甚だ遺憾である。

この市全体のグランドデザインをどうするか、つまり庁舎や教育施設を含めたすべての公共施設の配置、規模の適正化や景観についてのビジョンが全く欠如していると言わざるを得ない。街づくり条例などはあくまでも二義的なものに過ぎず、理念そのものが欠落した中では仏作って魂入れずになりかねない。(仮称)総合福祉センターしかり、そうした意味においては給食センターもまた同じだ。その場しのぎ、行き当たりばったり、思いつきの施策や答弁は甚だ迷惑だ。よって、一般会計については反対する。国民健康保険事業特別会計予算については、さきの第20号議案に対する討論をもって賛成討論とする。

**健全財政に向けて、市民が将来に希望・期待が抱けるよう市長、全職員が一致し、あらゆる努力を要望する**

自由民主党新政会 中村庄一郎

自由民主党新政会を代表し、一般会計予算及び6特別会計予算に賛成の立場で討論する。

市の財政は、急激な景気の後退により、市税の大幅な減額が見込まれる厳しい状況の中、市長初め一般職員等の給与削減、民間委託の推進等による経費削減など随所に財源確保の努力が認められる。

一般会計については、元氣な東大和再生プラン主要事業の多くを予算化し、経常的経費の枠配分等の諸施策を評価する。待機児解消の対策として、定員拡大のための民間保育園施設整備補助金や向原保育園の民営化に向けた準備経費が計上された。今後子育て世代への支援に更なる配慮を願う。乳

がん検診の定員拡大やヒブワクチン接種費、特定不妊治療費の助成が予算措置された。引き続き市民の健康維持・向上に努力された。学校の耐震補強工事については計画を早めて予算計上されているが、早期に耐震化を進め、安全安心な学校環境づくりに努力されたい。小・中学校の余裕教室を活用し、高齢者の地域交流室等が整備されたが、学校が地域の財産として有効に活用されることを望む。国民健康保険事業について、保険税の値上げ改定により歳入の確保を図ったが、引き続き国保税の適正な負担や制度の見直しを行い、国・都に対して制度改善の要望をされるよう望む。



**半端な気持ちで資源を分散させるな**  
**夢のある、一体感のある市政運営を**  
 政策の会 小林 知久

一般会計に反対、6特別会計に賛成の立場から討論する。  
 私達がここ数年訴えてきた、学校空き教室の活用・校庭芝生化・体育館の指定管理者導入・福祉センター建設凍結・リサイクルセンター再検討については評価する。

一方で、政策の有機的な繋がりがなく、かつ展望が見えないため、一般会計予算には反対と決めた。例えば、校庭の芝生化は、東大和での欠々の大規模で前向きな事業であるのに、他の分野の事業と連動しないのはどうだろうか。

私は、校庭の芝生化で『環境立国』を目指せないかと考えている。芝生の良さが浸透し一般住宅に広がれば、郊外をいかにした産業となる。

効果の落ちた施策を、より効果の高い施策にシフトし、市の方向性を活発に議論し見定め、全庁一体となって前向きに取り組む姿勢を要望し、討論とする。

芝生により地域参加する人を増やし「コミュニケーション」を撃げれば、やがて悲しい事件のない豊かな街になる。立国とは、物心両面で皆がその価値を認め目指すことであり、地域から可能にできる。

東大和が全国に先駆ける価値観を提案できる街になって欲しい。政策の会は、財政健全化と、活力があり顔の見える街づくりという視点から、政策の有機的な連動と魅力ある市政運営を望む。

自由民主党同志会を代表し、一般会計予算及び6特別会計予算に賛成の立場で討論する。

一般会計については、武蔵大和駅バリアフリー化推進のため、市民が利用しやすく、利用者の安全第一に整備工事を行うこと。男女共同参画推進事業は、若手職員を交え事業の検証を行うこと。民間保育園施設整備補助事業では、0歳から2歳児クラスの保育園待機児童対策について緊急に、迅速かつ更なる施策の遂行を強く求める。

学童保育所の待機児童対策として、余裕教室の活用が盛り込まれたことには評価する。乳がん検診の定員の増加を高く評価し、受診率の向上に向け乳がん撲滅運動の積極

的な実施を求める。ヒブワクチンの接種費用の助成や特定不妊治療助成制度を評価し、市民への告知やPRを更に求める。地産地消交流促進事業の計上を評価し、地産地消のさらなる促進を求める。コミュニティバス運行事業のルート変更に対する市民の声について、市民への更なるPRが必要。小学校の環境整備費の中で校庭芝生化が計上されたが、芝生化にちなんだ事業の実施を要望する。

国民健康保険事業について、保険料の改定に伴い新たな市民負担が発生する。市民への説明と告知を継続して実施し、国及び東京都に対し補助金や制度の改善を引き続き強く要望されたい。

**民間委託の推進等による経費削減の努力を評価する**  
**さらに市民ニーズを的確にとらえた政策を市長に望む**  
 自由民主党同志会 蜂須賀 千雅

一般会計予算と国民健康保険事業特別会計予算に対し反対の立場で討論する。

一般会計は、市長公約の総合福祉センター建設をあきらめても、増額した借金に頼らなければ予算

が組めない財政の状況は、生活困窮者が今の生活のために借金を重ねるのと同様の最悪のもので、市民財政の構造的な限界を迎えつつあるといえる。抜本的な見直し策が提示されない限り、また相変わらず

追いつめられている財政に、可能なあらゆる対策を講じるべきだ  
 無所属 長瀬 りつ

一方針の中で、自主財源の確保を別会計予算に賛成の立場で討論を行う。  
 来年度も市の根幹をなす市民税個人、法人ともに前年度より減少し、不安定な雇用や高齢化などによって扶助費は年々増加傾向となっている。予算をすべてに充当できるものではなく、歳入につながる施策も検討しなくてはならない。22年度の予算編成をしていく基

**財政が厳しいときだからこそ、市民との協働で具体的な事業行動を起こすべきだ**  
 無所属 粕谷 久美子

本方針の中で、自主財源の確保を図ることあり、一部の手数料の改正はあったものの、新たな取り組みは検討されず、前向きな姿勢が見られない。財政が厳しいときだからこそ、市民との協働で具体的な事業行動を起こすべきだ。緑のカーテンなどは、その小さな一歩だ。厳しい財政と言われながらも例年どおりの予算だ。事業仕分けの必要性を感じる。

追いつめられている財政に、可能なあらゆる対策を講じるべきだ  
 無所属 長瀬 りつ

追いつめられている財政に、可能なあらゆる対策を講じるべきだ  
 無所属 長瀬 りつ

追いつめられている財政に、可能なあらゆる対策を講じるべきだ  
 無所属 長瀬 りつ

**会計別予算額**

会計名	平成22年度	平成21年度	増減率(%)
一般会計	26,154,000	23,519,000	11.2
国民健康保険事業特別会計	8,462,470	9,253,562	△ 8.5
下水道事業特別会計	2,252,476	2,902,584	△ 22.4
老人保健特別会計	1,113	6,679	△ 83.3
土地区画整理事業特別会計	296,284	316,293	△ 6.3
介護保険事業特別会計	4,034,113	3,816,730	5.7
後期高齢者医療特別会計	1,237,533	1,156,960	7.0
合計	42,437,989	40,971,808	3.6

(注) 各会計間の重複額を除いた純計は394億1,999万4千円(前年度比3.6%増)です。

**市のお金の使い道**

一般会計	(市民1人当たり)
福祉のために(民生費)	163,411円
教育のために(教育費)	37,028円
庁舎管理などのために(総務費)	29,749円
借金をかえすために(公債費)	24,587円
ごみや健康のために(衛生費)	24,116円
道路や公園のために(土木費)	19,491円
消防や災害対策のために(消防費)	12,818円
農業や商工業などのために(その他)	5,415円
市民1人当たりの合計	316,615円

※人口 82,605 人(平成22年1月1日現在)

**予算案に対する会派等の態度**

会派等	○賛成 × 反対							
	公明党	自由民主党新政局	自由民主党同志会	日本共産党	民主党	政策の会	無所属	
構成人数	5人	4人	4人	3人	2人	2人	1人	1人
一般会計	○	○	○	×	×	×	×	×
国民健康保険事業特別会計	○	○	○	×	○	○	○	×
下水道事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○
老人保健特別会計	○	○	○	×	○	○	○	○
土地区画整理事業特別会計	○	○	○	○	○	○	○	○
介護保険事業特別会計	○	○	○	×	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計	○	○	○	×	○	○	○	×

※上記の構成人数は採決に加わった人数とは異なります。

ず金がないのは国のせいという市長の責任転嫁の体質が改善されない限り、認めることはできない。国民健康保険事業特別会計については、最悪の経済状況と言われている中で国保税を引き上げれば高い保険税は滞納世帯の増大を招くだけで期待した効果を得られない。この時期の値上げ改定は見送るべきだ。



# 市政を

## 3月議会 一般質問要旨

# 聞く

掲載は  
発言順

### ごみ資源化、3市共同資源化施設建設見直しへの 市長の対応、非正規職員の待遇改善 (無所属) 長瀬りつ



暫定リサイクルセンター

**問** 当市の一人1日当たりのごみ量は、多摩26市で上から2番目に多い。生ごみなど減量の具体的な実践に踏み出すべきではないか。

**答** 生ごみは今100%焼却が実態だ。資源としての有効活用のルート確立が絶対必要条件であり、市民の分別意識、協力も必要。方策を研究していく。

**問** 3市共同資源化施設建設は、

未だ基本構想もまとまらず、敷地面積の狭さに起因する多くの問題点が指摘されている。市長は理事者合意を見直すべきではないか。

**答** 現在推進本部で取りまとめをしており、その結果を注視している。結論に至ってない段階で理事者合意の変更を求める状況にはない。住民の意思を尊重しながらいい方向で対応していきたい。

**問** 市役所の正規職員は473人、非正規職員は542人という、とんでもないことになっている。市民サービス向上の面からも、非正規職員の待遇改善が必要と考えるが。

**答** 交通費の支払いや個人の生活も保障できるような嘱託制度の充実が必要と認識している。財政状況をかんがみ検討していく。

## 各議員が取り上げたテーマ

**無 長瀬りつ**  
ごみ減量施策・3市共同資源化施設建設・市非正規職員の対応ほか

**公 尾崎信夫**  
武蔵大和駅・志木街道整備・空堀川、奈良橋川整備・狭山丘陵整備

**民 二宮由子**  
ちよこバス運行について・安全、安心なまちづくりについて

**政 中村庄一郎**  
公務員住宅・住宅、店舗リフォーム助成制度・市制40周年ほか

**公 佐村明美**  
発達障害児(者)支援対策・教育・がん、医療対策の取り組み

**策 小林知久**  
民営ハミングホールの現状・策定中の街づくり条例・校庭芝生化

**自 蜂須賀千雅**  
市道の防犯対策・余裕教室活用と統廃合・スポーツ、芸術振興ほか

**共 西川洋一**  
市民の雇用と貧困対策・市民の健康・住宅リフォーム制度拡充ほか

**公 御殿谷一彦**  
子ども手当の影響・新電算システム開発状況・東大和南公園整備

**策 関野杜成**  
契約・補助金・ゴミ収集

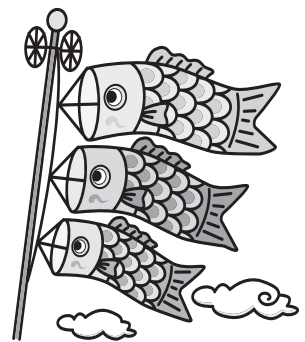
**公 中間建二**  
情報公開・放課後子ども教室全校配置・学校施設の耐震化ほか

**共 吉野孝**  
公契約条例の制定・後期高齢者医療制度・介護保険について

**共 尾崎利一**  
桜が丘警視庁未利用地とグラウンドの市民利用・ヘリコプター騒音

**無 粕谷久美子**  
子ども(児童虐待への対応)・農業・仮称総合福祉センター

**自 押本修**  
市民会館について・通学路について・自治会について



会派略称 公→公明党 政→自由民主党新政会  
自→自由民主党同志会 共→日本共産党 民→民主党  
策→政策の会 無→無所属

### 地域住民のニーズに対応した ちよこバスの運行を望む (民主党) 二宮由子



ちよこバス

**問** ルート変更後のちよこバスについての市民の声、意見を伺う。

**答** 市長への手紙、電話等58件ある。要望については対応したい。変更後の利用状況を伺う。

**問** 昨年9月からの半年間で約371人、ルート見直し前の1年間の平均が約526人で約29%減少した。

**問** 路線廃止地域への事前説明が足りなかったのではないか。

**答** 市民説明会を行った。市民からの要望にも丁寧に対応している。

**問** 市が説明責任を果たすべく努力が足りなかったから、半年経過した今でも、廃止した理由が理解されていない。今後の課題を伺う。

**答** 厳しい財政状況の中で、市民要望にどのように応えていくか将来にわたって事業を継続していくことが、課題である。

**問** 路上喫煙禁止区域の設置や条例制定の検討について伺う。

**答** 現在はマナーアップを行い、今後条例化については、他市の成功事例等を情報収集し研究したい。

**問** 今後路上喫煙やポイ捨ての取り組みと効果を伺う。

**答** 条例という形なのか、マナーアップに求めるのか検証をしたい。

### 女性の命を守るため 子宮頸がんワクチンの公費助成を (公明党) 佐村明美



**問** 子宮頸がんは日本で年間約3500人が亡くなる。発症防止のためのHPV検査、検診、ワクチン接種をすることで100%防げる。普及、啓発運動、ワクチンの公費助成を実施すべきと考える。

**答** ワクチンの啓発、接種費用の公費助成をあわせて研究したい。

**問** ワクチンの接種、検診をすることでほぼ100%予防できる認識は、

**答** 都議会でも公明党議員が、公費助成を行う区市町村への支援を強く提案。局長が支援する考えを示した。内容を確認し対応したい。

**問** 杉並区で中学1年生を対象に、ワクチンの接種費用を無料にする。30%の接種を見込んでいるが、当市で同様に実施した場合の費用は、600万円程度になる。

**問** 20〜30代に子宮頸がんが多く発生している。20代前のワクチン接種が重要で、中学生くらいが一番効果が高い。また、検診は若い方は恥ずかしい、休日を受けられない等、受診できる体制も必要である。検診率の低い状況から見て、ワクチン接種は必須課題である。

**答** 女性の命を救うためにも、6月の補正予算で対応したい。



市道8号線付近でのひったくり犯罪と資源物集団回収について聞く

蜂須賀千雅 (自由民主党同志会)



市道8号線

問 市道8号線付近でのひったくりによる犯罪の状況は。
答 清水地区は21年がゼロ、前年が1、狭山地区はそれぞれ1と2、湖畔地区は3と1、高木地区はいずれもゼロとなっている。

問 犯人の特徴や警察の要請は。
答 犯人は、バイクを使い、時には二人組み。被害者は女性で徒歩、自転車等である。警察からは街路灯の設置及び照明照度のアップの要請があり建設環境部で対応した。

子ども手当実施の影響 東大和南公園の防災公園化

御殿谷一彦 (公明党)



東大和南公園

問 子ども手当実施に伴い扶養控除廃止、特定扶養控除減額となる。市民生活への影響を伺う。
答 平成23年度から所得税で扶養控除38万円が、24年度から住民税で33万円が控除廃止となる。特定扶養控除の上乗せ分も所得税25万円、住民税12万円が廃止となる。控除見直しにより課税所得が増え、住民税関係で幼稚園就園奨励費補

助など17件、所得税関係で保育料など26件が影響を受ける。所得階層が上がることに保育料が上がることも考えられる。
問 新電算システムの開発状況
答 データセンター側は建物・電源・通信回線の災害対策が講じられている。庁舎側も通信回線遮断時はバックアップサーバーで照会及び証明書発行に対応する予定。

問 東大和南公園の防災公園としての整備状況について。
答 21年度22年度の2カ年にわたっての整備状況について。21年度22年度の2カ年にわたっての整備状況について。21年度22年度の2カ年にわたっての整備状況について。

庁議の内容を迅速に公表せよ リサイクルセンター構想は撤回を

中間建二 (公明党)



暫定リサイクルセンター

問 情報公開条例の理念の上からも、庁議の内容について迅速に市民に公表をすべきではないか。
答 市民のプライバシー以外の件については、積極的に公表したい。市がどこに向いているか、どういう政策のもとで議論しているかというところを知ってほしい。

問 私は、リサイクルセンター構想について計画を断念すべきである。
答 想については計画を断念すべきである。と主張してきたが、その理由としては、①土地の狭さによる制約から本来必要とされているリサイクル施設の建設が不可能②立地条件から周辺環境に与える影響が大きい③民間で対応できるリサイクルを莫大な税金を投じて箱物をつくる合理的な理由がない、など幾つかの問題点を指摘してきた。

自治大学のグラウンドとテニスコートも借りられる！ヘリ騒音軽減へ高度等独自調査を

尾崎利一 (日本共産党)



自治大学グラウンド

問 警視庁のグラウンドの使用料が高い。
答 子どもが使う場合は昨年度より減額する可能性はある。しかし、当分、工事等で使用できない。

問 玉川上水駅から徒歩5分に自治大学校がある。立川市が日曜に立派な芝グラウンド、土曜にテニスコート4面を毎週借りている。
答 今後自治大学の担当と調整を図る。

問 ヘリコプター騒音について前議会以降の取組みは。
答 1月19日に市長名で自衛隊立川駐屯地に軽減策を要望した。騒音調査を2回に拡大した。重要だ。武蔵村山市が自衛隊ヘリコプターのルートや高度を独自調査する。共同でやるべきだ。

子ども家庭支援センターの役割とファーマーズセンターの活用について

粕谷久美子 (無所属)



ファーマーズセンター

問 先駆型として子ども家庭支援センターの役割について、①どのような体制か②通報は市民にどのようにつけていくか。
答 ①要保護児童対策地域協議会の設置と児童虐待対策ワーカーとして常勤1名を増員し、現在4名の常勤職員と、心理士の嘱託員1名の体制で児童虐待の防止に努めている。②市民への啓発活動として

問 ファーマーズセンターを市民と農業者の交流活動の場として幅広く有効利用できないか。
答 当センターの本来の利用目的は、センター農園の利用者が地域住民の方とグループ等で活動されるのが基本と考えている。地域住民と農業者の方とともに利用されれば差し支えない。

ユニオンガーデン前横断歩道(二小通学路)の安全確保について

押本修 (自由民主党同志会)



ユニオンガーデン前横断歩道

問 この横断歩道を渡って二小へ通学する子どもたちを毎朝見守っているのは、地域4地区の保護者が交代で2名ずつとボランティアの中橋哲男さんである。
答 36年間二小へ通う子どもたちを守り続けてきた。きっかけは36年前にこの横断歩道で発生した死亡交通事故で、二小へ通う女児1名が命を落とした。現在70歳になる

問 中橋さんの心配は自身の後継者なことであり、地域の保護者方からも中橋さんがいなくなったらただではどうすることも出来ないかと心配する声がかかる。
答 36年以上子どもたちを見守っていたとき、教育委員会としても感謝の気持ちでいっぱいです。先

問 中橋さんがいなくなったらどうしよう、行政からも見放されるのではという大きな不安が保護者方にはある。
答 行政は最後まで見守るとい意思表示をぜひお願いしたい。



### 武蔵大和駅のバリアフリー化 の状況について伺う

尾崎 信夫  
(公明党)



武蔵大和駅

**問** 武蔵大和駅のエレベーターの設置位置の状況について伺う。

**答** 都道から駅舎へ向かう入り口部分に13人乗りを設置し、改札やホームとほぼ同じ高さまで上がる。

**問** エレベーターから改札までの通路の状況について伺う。

**答** 通路幅1.8メートル、延長約25メートルのスロープが設置される。

**問** 現在のスロープ、階段がどのようになっているのか。

**答** 40分の1の上り勾配となる。現在のスロープ部分に改札まで上がる階段が設置される。

**問** ホーム、障害者対応トイレをどのように改築されるのか。

**答** 駅舎の建て替えと擁壁の補強工事を行い、障害者対応トイレはホームと同じ高さに設置される。

**問** 既存の駅舎、トイレ、桜の木はどのような状況になるのか。

**答** 駅舎は職員の宿舎となり24時間常駐、トイレは障害者対応用と並んでホームわきに設置、桜の木は最低限の枝の剪定で済む。

**問** 今後の工事予定、工事期間中の安全確保について。

**答** 5月の連休明けに着工、工事期間中は危険のないよう養生する。

### 住宅・店舗リフォーム資金 助成制度の更なる充実を望む

中村 庄一郎  
(自由民主党新国会)



市道 822 号線

**問** 市の住宅・店舗リフォーム資金助成制度の現状と課題について、また、増築工事についても助成対象に加えられるか伺う。

**答** 昨年度は申請件数の減少が見受けられたが、今年度は70件を超える申請があり、本制度が建設業界の活性化、住宅機能の維持向上に寄与していると考えている。課題としては店舗リフォームの申請

**問** が少ない状況にあり、引き続き制度の案内等を通して制度の活用を働きかけていきたい。増築工事を助成対象に加える件については、実行する方向で庁内で検討したい。

**問** 茅窪・青梅街道から貯水池への市道第822号線の側溝と電柱の移設やガードレールの設置等の安全確保が図られているのか伺う。

**答** U型側溝のふたの部分が、持ち上がった下がり下がりしているのは確認している。年次計画をもって対応したい。電柱によって車道の部分が非常に狭い所があり、現在NTTと調整に入っている。ガードレールの設置は道幅の関係で困難なため、カラー舗装等により歩行者の安全を図れないか検討し考えていきたい。

### 空き教室活用と校庭芝生化を繋げ 学校を地域の核となる場に

小林 知久  
(政策の会)



市立第四小学校

**問** 初めて芝生化を提案して約7年。今回の四小の芝生化を嬉しく思う。まず、芝生化工事の①概要②金額③市の負担分④維持管理体制は。

**答** ①バスケットコート以外の校庭3千平米と、屋上5百平米を芝生化。②約1億2千9百万円。③約40万円が市負担。残りは都負担。④維持管理組織をつくり詳細を詰める。

**問** 教育センターが三小校舎に移るが、何かあったらセンター職員は学校のために働くか。

**答** 校長の要請でセンター職員も対応するのは当然。

**問** 芝生の支援として、どこかの市施設が四小に入り業務の合間に職員が芝生の維持などできるのではないかと。また、市施設を入れることで、学校が地域の本当の意味での核になる。コミュニティ施設として活用する視点はどうか。

**答** 各団体が連携を進めるため、住民に愛着のある施設の活用は非常に有効。研究したい。

**要旨** 学校が核となりコミュニティが元気になるれば、市も元気になる。30年後の東大和市が6万人の街か10万人の街かの違いになる。気合を入れてやって欲しい。

### 市内の非正規職員労働の改善のため 市は対策を考えるべきである

西川 洋一  
(日本共産党)



**問** 臨時職員、嘱託員の労働条件はどのくらいものなのか。正規職員との5年間の比較を伺う。

**答** 賃金では2千万円の差、休暇は有給休暇のみ、社会保険関係は該当、労働三権は制約を受ける。

**問** 恒常的な仕事に臨時職員を使うことに問題があるのではないかと。

**答** 限られた財源を市民サービスに有効活用するため行政コストを

**問** 下げる必要があり、臨時職員に恒常的な業務を一部お願いしている。

**問** 臨時職員の雇用は通算期間1年を超えてはならないと要綱にあるが、10年近く続けている人もいる。どういった仕組みか。

**答** 市では最大1年間の雇用で実施。同じ人を一月後に新たに雇用することは可能と考えている。

**問** 一番長く勤めている人は、平成11年度からのデータでは事務系で5人いる。

**問** 同一労働価値、同一賃金、この原則を貫くことについてどうか。

**答** すべて正規職員で対応したいが、国、都の動向、経済危機の中で市政を考えたとき、民間活力に依存するしかない各自治体の状況であると把握している。

### 地元業者をバックアップする工夫と 小規模工事等登録制度の確立を

関野 杜成  
(政策の会)



**問** 小規模工事の入札に地元業者だけを呼び、実績を持たせ、他市に出て行けるよう育成できないか。

**答** 経験を積んでもらう、また他市に乗り出してもらうためにも、大事なことである。これからは十分配慮していきたい。

**問** 他市に50万〜150万円程度の工事を、一人親方が請け負える小規模工事等希望者登録制度があるが。

**答** 申請しないが把握していない。十分調査をして選定していく。

**問** 民間が元気になると市も元気になる。落札して最低でも一、二割の儲けを出すべきだ。積算能力と、工事等すべての案件に、早急に最低価格をつけるべきと思うが。

**答** 今平均で95%前後である。

**要旨** 落札価格が翌年の予算額になり、同じ仕様の契約額が毎年下がっていく。最低価格の設定を。

### 公契約条例の制定に向けて 市長を先頭に、早期の実現を問う

吉野 孝  
(日本共産党)



**問** 市の業者委託等に関する契約に際し、委託先の労働条件等はどういった把握しているのか。

**答** 委託契約に際して、仕様書の中で労働条件に関して記載はしていないが、契約を結ぶ際の契約約款で締結時に法令遵守をお願いしている。公契約における地方公共団体の入札については、低入札価格の問題から下請の事業者や従

**問** 事する労働者の賃金に影響していると言われていることは認識している。また、委託先の労働条件等の把握については、現在調査等は行っていないため、状況の把握は困難であると認識している。

**問** 市からの業務委託契約によって委託先の労働条件が低賃金になるのは、結果として税金を使って低所得者を生み出すこととなり問題かあると思うがどうか。

**答** 市としては、民間活力の導入と経費削減の達成と委託業者側の企業努力という点で非常にマッチしたケースと認識している。

**要旨** 市民の生活を守っていくためにも、公契約条例制定に向けて、市長が先頭に立って検討し、早期の実現をお願いしたい。



# 委員会での議論

## 総務

コードレス電話、携帯電話、無線LANに関する陳情は、趣旨採択としました。

### (主な質疑)

問 市民のプライバシーを扱う部署において、このコードレス電話、携帯電話、無線LANなどを使って業務をしているのか。

答 コードレス電話、無線LAN等を使っている実態はない。

問 無線LANを使わずに、有線情報やりとりしている理由は、情報セキュリティポリシーを策定しており、プライバシーの保護等の観点から、基本的には有線回線を利用している。デジタルは傍受されにくい、危険性はある。

答 法務局の出張所、警察、消防保健所など、今回の陳情の内容のような使用の実態があるか。市議会から要望を出すことはどうか。

答 それらの確認は行ってない。



市からの申し入れは難しい。

問 有線なら安全というものではない。プライバシーの大事さとそれを扱う職員意識、具体的なルールをしっかりと整備していくべきと思うが、ルールはあるのか。

答 公務員はプライバシーを守ることは重要なことだと思ってるし、常々、研修等で職員へ徹底している。今後も研修等を通じてその意識を徹底していきたい。

(所管事務調査)  
「市の防災安全対策のうち総務部の所管に関すること」を調査しました。

日常的な消防団の活動について御意見を伺うため、参考人として東大和市消防団長の中澤様に御出席いただき調査しました。

## 厚生文教



東大和市国民健康保険税条例の一部を改正する条例は、原案どおり可決としました。東大和市国民健康保険税の値上げに反対する陳情は、不採択としました。

### (主な質疑)

問 国保税が差し引き1億800万円を超える大幅増税になるとあるが、その確認と低所得者の軽減措置を配慮した改善の身身は。

答 税額等の増加額だが、答申をいただいたときの資料や全員協議会での資料で、保険税の調定額ベースでの増額の見込みが1億828

とで、7割、5割、2割の減額を選択する判断をした。  
問 今回の値上げの理由は何か。  
答 今度まで2回否決されたと考えらるか。

問 国民健康保険を今後も健全に運営していくためには、値上げせざるを得ないと提案した。否決になったのは市民説明が足りなかったのではないかと考える。

答 7割、5割、2割という低所得者のための対応ということで、これら減額される世帯の条件は。

問 7割軽減は総所得金額で言うと33万円を超えない世帯である。5割軽減は、前年の総所得が33万円を超えない条件で、なおかつ、この基準に世帯主を除く1人当たりの被保険者につき24万5千円を加算する。2割軽減は、総所得が33万円を超えないのが基本にあり、

東大和市学校給食計画(案)に関する陳情は、趣旨採択としました。

(主な質疑)  
問 陳情は広く市民に理解をいた

だくために新たな検討委員会の設置を求めているが、市民の理解をどう求めているのか。

答 審議の結果の主な内容や提出した資料はホームページに随時掲載し情報を提供していきたい。計画案が熟して、もう少し具体的に

なった段階で、市民に説明をする。国の耐用年数の目安が40年という法的根拠は。

問 補助金を活用した施設で国の許可を得ないで自由に処分できる年限については、補助金適正化法

学校給食計画(案)の撤回・再検討を求める陳情は、不採択としました。

(主な質疑)  
問 桜が丘市民広場の一部をつか

すということと学校給食計画(案)も出ているが、限られた財政状況

さらにこの場合は世帯主を入れて1人につき35万円を加算していく。

問 国保の料金だけで運営できていないと考えるのか。

答 国保は制度の原則でいえば公費が50%、加入者の保険料が50%である。当然これではやっていけないので、一般会計から繰り入れを受けることで何とか運営しているのが実情である。

(反対討論)  
国保税を10年間改定しなかったために赤字になったという問題は繰り入れの大幅削減のためだ。直ちに値上げをしなければ一般会計がやっていけない状況にない。前期高齢者交付金の精算の処理について先延ばしするなどの検討も行われずに市民に負担をかぶせるものになっているという点で反対する。

に基つく規定である。  
問 現在の東大和市学校給食センター運営委員会、専門部会で検討している案は願いにかなったものだと考えるか。また検討内容や意見等、ホームページで紹介されていると思うが市民の反応はどうか。

答 新しいセンターを早急に建設してほしいという一定の方向性が示されている。食の安全が図られることと個々食器の導入も実現できれば、その意味でよりよいということと陳情者の願いをかなえらるる内容と認識している。今のところ要望や意見等は特にはない。

学校給食計画(案)の撤回・再検討を求める陳情は、不採択としました。

(主な質疑)  
問 桜が丘市民広場の一部をつかすということと学校給食計画(案)も出ているが、限られた財政状況

たので、そういう説明をさせていた。近隣の施設を活用させていただいて市民サービスができるならば、その努力をしたい。

問 給食センターが桜が丘市民広場の一部を使って建設された場合、

(仮称)東大和市総合福祉センターの早期建設を求める陳情は、趣旨採択としました。

(主な質疑)  
問 市民参加による(仮称)総合福祉センター基本計画策定検討委員会

でまとめられた基本計画仮案をベースに速やかに基本設計、実施設計、建設へ取りかかってほしいという陳情趣旨だ。この問題のこれまでの経緯について伺う。

答 検討委員会は平成21年11月に第6回を行った。その審議を経て見直しをした基本計画案を委員にお送りした。それを検討委員会第7回の会議で原案という形で審議していただき、完成したい。原案

食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める陳情は、趣旨採択としました。

(主な質疑)  
問 食品表示の現状はどのようになっているか。トレーサビリティを義務化すると、消費者にどのような影響があるか。

答 JAS法・食品衛生法・健康増進法の内容を表示することになっている。一方、問題点もあり、JAS法については調理、冷凍食品、缶詰、瓶詰も、レトルトパウチ食品などは表示の対象外である。トレーサビリティの義務化の影響だが、これは食品の移動を追跡す

るもので、流通ルートを確保して安定的に供給できる効果がある。  
問 体細胞クローン由来食品の商品化の状況は。

答 体細胞クローンで生まれた牛や豚については、実際国内では出荷の自粛を農林水産省が要請しており、流通はしていない。  
問 食品安全委員会は安全と言っているが、表示が義務化されれば危険と思う人がそれを食べず、選択できるようなものになるのか。

答 そのような考えで結構と思う。

## 建設環境



ちよこバス路線復活に関する陳情は、継続審査としました。

合、サッカーコートが現在より小さくなるようなことはあるか。  
答 新たなコートは、長さが90メートルで、幅は65メートルが可能と考えており、国内の正式な試合はできるコートを確保している。

問 センターができないとなるとやるべき事業はどのようなものか。  
答 相談支援事業は、相談者の一般相談、就労生活の支援事業の整備、日中活動の場の確保、みのり福祉園の生活介護の定員の拡大、高齢者の地域包括支援センターの整備を早急にやらなければならぬ。今後それらの課題をどうするかということも22年度になったら早急に検討したい。



# 一部事務組合議会報告

## 昭和病院組合議会

- ◇組合議会議員  
蜂須賀千雅 佐村 明美
- 平成21年第2回定例会  
1 開催日 平成21年11月27日
- 2 審議事項  
●平成20年度昭和病院組合病院事業決算の認定について
- 平成22年第1回定例会  
1 開催日 平成22年2月19日
- 2 審議事項  
●公立昭和病院使用条例の一部を改正する条例  
●平成22年度昭和病院組合病院事業会計予算ほか

## 湖南衛生組合議会

- ◇組合議会議員  
吉野 孝 二宮 由子
- 平成21年第2回定例会  
1 開催日 平成21年11月16日
- 2 審議事項  
●平成20年度湖南衛生組合歳入歳出決算の認定について
- 平成22年第1回定例会  
1 開催日 平成22年2月16日
- 2 審議事項  
●平成22年度湖南衛生組合組織市の分担金の額について  
●平成22年度湖南衛生組合歳入歳出予算ほか

## 小平・村山・大和衛生組合議会

- ◇組合議会議員  
尾崎 利一 粕谷久美子  
石川庄太郎 長瀬 りつ
- 平成21年11月定例会  
1 開催日 平成21年11月17日
- 2 審議事項  
●平成20年度小平・村山・大和衛生組合一般会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年2月定例会  
1 開催日 平成22年2月17日
- 2 審議事項  
●小平・村山・大和衛生組合職員との給与に関する条例の一部を改正する条例  
●平成22年度小平・村山・大和衛生組合一般会計予算ほか

## 東京都市収益事業組合議会

- 東京都市収益事業組合は自転車競走(競輪)施行のために組織しましたが、平成18年度に競輪事業から撤退し、その後組合の精算業務を行ってきました。
- 平成22年第1回定例会  
1 開催日 平成21年10月29日
- 2 審議事項  
●平成20年度東京都市収益事業組合歳入歳出決算の認定について
- 平成22年第1回定例会  
1 開催日 平成22年2月5日
- 2 審議事項  
●精算金支払請求事件に関する和解について

- 東京都市収益事業組合の解散について
- 東京都市収益事業組合の解散に伴う財産処分についてほか

## 東京たま広域資源循環組合議会

- ◇組合議会議員 関田 正民
- 平成21年第2回定例会  
1 開催日 平成21年10月28日
- 2 審議事項  
●平成20年度東京たま広域資源循環組合一般会計歳入歳出決算の認定について
- 東京たま広域資源循環組合議会の議員その他非常勤の職員
- 平成22年第1回定例会  
1 開催日 平成22年2月22日
- 2 審議事項  
●平成22年度東京たま広域資源循環組合負担金について  
●平成22年度東京たま広域資源循環組合一般会計予算ほか

## 広域連合議会報告

### 東京都後期高齢者医療広域連合議会

- ◇広域連合議会議員 佐村 明美
- 平成21年第2回定例会  
1 開催日 平成21年11月17日
- 2 審議事項  
●平成20年度東京都後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算の認定について
- 平成22年度東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定についてほか
- 平成22年第1回定例会  
1 開催日 平成22年1月29日
- 2 審議事項  
●東京都後期高齢者医療広域連合と千代田区外61団体との間における葬祭費の事務委託について  
●平成22年度東京都後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計予算ほか

## 協議会報告

### 三多摩上下水及び道路建設促進協議会

- 第1委員会(上水道)
- ◇第1委員会委員 森田 憲一
- 第1回第1委員会  
1 開催日 平成22年1月27日
- 2 協議事項  
●定期総会に提出する平成21年第2委員会(下水道)

- ◇第2委員会委員 吉野 孝
- 第2回第2委員会  
1 開催日 平成21年10月19日
- 2 協議事項  
●三多摩地区下水道事業に対する東京都からの説明及び質疑  
●平成22年度第2委員会運動方針(案)についてほか

## 議長が出席した会議等

### 東京都市区議会議長会

- 本会は、東京都の市議会議長、特別区議会議長で組織してきましたが、平成22年3月31日をもって解散しました。
- 臨時総会  
1 開催日 平成22年2月1日
- 2 協議事項  
●東京都市区議会議長会の解散について  
●東京都市区議会議長会の財産の処分についてほか

### 東京都市議会議長会

- 11月定例会  
1 開催日 平成21年11月16日
- 2 協議事項  
●各市提出議案について  
●関東市議会議長会の諸行事の実施に伴う交付金支出基準(案)について  
●東京都市議会議長会運営調整基金規程の一部改正について  
●平成22年度東京都市議会議長会事業計画(案)について

### 東京都北多摩議長連絡協議会

- 研修会  
1 開催日 平成22年1月15日
- 2 研修内容  
「地方分権とその課題」

### 東京都三多摩地区消防運営協議会

- 役員会  
1 開催日 平成22年1月19日
- 2 議題  
●平成22年度消防事務委託についてほか  
●東久留米市の協議会加入について  
●平成22年度通常総会日程等について



# topics あれこれ

## 東京都道路整備事業推進大会に出席しました

第20回東京都道路整備事業推進大会が11月5日に日比谷公会堂で開催され、当市議会から14名の議員が参加しました。

東京の広域化する交通混雑の緩和や、安全で快適なまちづくりに資するため、道路、橋梁、鉄道連続立体交差等の整備や、公共交通を充実させる都市モノレール等の整備推進を図ることを目的に、推進大会を開催しています。

大会当日は23区、39市町村から道路事業関係者を中心として、約2000名が一堂に会し大会宣言、大会決議を採択しました。



第20回東京都道路整備事業推進大会

## 男女共同参画の取り組み 桑名市議会来訪

10月22日三重県桑名市議会会派(自由クラブ)1名が行政視察に当市を訪れました。

視察の目的は、「男女共同参画の取り組みについて」で、子ども生活部長、市民生活課長が説明しました。

## 東京都市議会議員 研修会に出席

東京都市議会議長会主催の、第48回東京都市議会議員研修会が、2月16日に府中の森芸術劇場において開催されました。

講師は作家の童門冬二氏で、「大不況や災厄と自治体議会―歴史に見る危機管理―」をテーマに講演が行われ、当市議会からは13名の議員が出席しました。



東京都市議会議員研修会

## 認知症サポーター 守口市議会来訪

2月19日大阪府守口市議会会派(守口市議会公明党)3名が行政視察に当市を訪れました。

視察の目的は、「認知症サポーター100万人キャラバンについて」で、東大和市における事業への取り組み状況、住民に対し認知症に関する意識調査をしたか、予算は

どの程度かなどの調査項目について福祉部参事が説明をしました。

説明終了後、積極的な質疑、答弁がされました。



守口市議会行政視察

## 議員研修会を開催しました

1月25日、市議会全員協議会室において、平成21年度の議員研修



議員研修会

会を開催しました。

講師に元東久留米市教育部長 現財政改革アドバイザーの大崎映二氏を迎え、「議会における行政評価の活用等について」をテーマに講演が行われました。

講演内容は「事務事業の優先度はつくのか」など、今後の議員活動に大変参考になるものでした。

# 陳情の要旨

### ○コードレス電話、携帯電話、無線LANに関する陳情

(茅窪在住 細田 茂夫)

▼要旨▶ 市民のプライバシーを扱う部署においては、コードレス電話、携帯電話、無線LANを使用しないことを求めます。

・東大和市を管轄し、住民基本台帳ネットワークシステム端末を

### ○東大和市国民健康保険税の値上げに反対する陳情

(武蔵村山市在所 村山大和 社会保障推進協議会 代表 藤原 幹 男 ほか10名)

▼要旨▶ 2010年度の東大和

市国民健康保険税改定については、低所得層への軽減措置を拡大し、値上げはおこなわないこと。

### ○ちよこバス路線復活に関する陳情

(蔵敷在所 ちよこバス路線を考える会 代表 佐渡 キヨネ)

蔵敷在所 ちよこバス路線を考える会 代表 高崎 誠治)

## ホームページで議事録を閲覧できます

定例会、臨時会、常任委員会、予算特別委員会、決算特別委員会等の議事録が閲覧できます。

## 市議会だよりの表紙写真募集

東大和市内を撮った写真であれば、何でも結構です。(写真の人物が、明らかに特定できる場合は、ご本人の了承を得てください。)

### 【募集要項】

- 撮影者自身に著作権がある未発表・未公開のオリジナル作品
- 審査は議会広報委員会が行います。
- 送付・問い合わせ先

東大和市議会事務局 庶務調査係

(電話) 042-563-2111 内線 2002



▼要旨▶ 平成21年9月からちよこバス運行路線の変更により芝中ルートが廃止されましたが、住民の日常生活に大きな影を落としました。

○食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める陳情

(立野在所 生活クラブ運動グループ地域協議会 田尻 文子)

▼要旨▶ 以下3件の内容で、食品表示制度の抜本改正を求める意見書を国に提出して下さい。

- ①加工食品の原料のトレーサビリティと原料原産地の表示を義務化すること。
- ②全ての遺伝子組み換え食品・飼料の表示を義務化すること。
- ③クローン家畜由来食品の表示を義務化すること。

便な生活を強いられておりますので一日も早く芝中住宅を通る路線を復活して下さるよう陳情いたします。



### 閉会中に行われた会議

- < 1月 >
  - 14日 ○厚生文教委員会
  - 15日 ○議会広報委員会
  - 25日 ○議会運営委員会
- < 2月 >
  - 8日 ○全員協議会  
○代表者会議
  - 9日 ○厚生文教委員会
  - 19日 ○議会運営委員会
  - 23日 ○総務委員会
  - 26日 ○代表者会議  
○議会運営委員会

### 議長・議員が出席した会合

- < 1月 >
  - 15日 ○東京都北多摩議長連絡協議会研修会
  - 19日 ○東京都三多摩地区消防運営協議会役員会  
○東京都三多摩地区消防運営協議会第二部会
  - 25日 ○東大和市議会議員研修会
  - 27日 ○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第1委員会
  - 28日 ○三多摩上下水及び道路建設促進協議会第2委員会
  - 29日 ○東京都後期高齢者医療広域連合議会定例会
- < 2月 >
  - 1日 ○東京都市区議会議長会臨時総会  
○野火止用水保全対策協議会研修会
  - 5日 ○東京都市収益事業組合議会定例会
  - 8日 ○小平・村山・大和衛生組合議会正副議長会議
  - 16日 ○第1回湖南衛生組合議会定例会  
○東京都市議会議員研修会
  - 17日 ○小平・村山・大和衛生組合議会2月定例会
  - 19日 ○昭和病院組合議会第1回定例会  
○東京都市議会議長会定例総会
  - 22日 ○第1回東京たま広域資源循環組合議会ブロック代表者会議  
○第1回東京たま広域資源循環組合議会定例会

### 6月定例会の予定

通常、開会時間は午前9時30分です。

月 日	会 議	内 容
6月1日(火)	本 会 議	議案の審議など
2日(水)	本 会 議	一般質問
3日(木)		
4日(金)		
7日(月)		
8日(火)	委 員 会	付託議案の審査 請願・陳情の審査
9日(水)		
10日(木)		
11日(金)	本 会 議	委員会審査報告など
15日(火)		

※日程は変更する場合がありますのでご了承ください。  
 確定したい東大和市ホームページに掲載いたします。  
 問い合わせ先 議会事務局 内線 2002

### 3月議会での議案等の結果

件 名	会 派 名							結 果
	公	政	自	共	民	策	無	
市長提出案件 28件								
東大和市土地開発公社の経営状況について								報
人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて	○	○	○	○	○	○	○	適
平成22年度東大和市一般会計予算	○	○	○	×	×	×	×	可
平成22年度東大和市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可
平成22年度東大和市下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可
平成22年度東大和市老人保健特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可
平成22年度東大和市土地区画整理事業特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	可
平成22年度東大和市介護保険事業特別会計予算	○	○	○	×	○	○	○	可
平成22年度東大和市後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	×	○	○	×	可
東大和市特別職職員の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市教育委員会教育長の給与等の特例に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市立みのり福祉園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	×	可
東大和市中小企業勤労者生活資金融資条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市一般会計補正予算（第6号）	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市国民健康保険事業特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市下水道事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市土地区画整理事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市介護保険事業特別会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	可
委員会提出案件 1件								
食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可
議員提出案件 5件								
永住外国人に対する地方参政権付与に反対する意見書	×	○	○	×	×	×	×	否
朝鮮学校を高校無償化の対象とするよう求める意見書	×	×	×	○	×	×	○	否
「ヒロシマ・ナガサキ議定書」NPT再検討会議での採択に向けた取組を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	可
派遣から正規雇用への道を開き、派遣労働者を守る労働者派遣法の抜本改正を求める意見書	×	×	×	○	×	×	○	否
小平・村山・大和衛生組合におけるごみ処理事業の適正な執行と3市共同資源物処理施設（リサイクルセンター）建設について抜本的な見直しを求める決議	○	×	○	○	○	○	○	可
陳情 8件								
東大和市学校給食計画（案）に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	趣
学校給食計画（案）の撤回・再検討を求める陳情	×	×	×	○	×	○	○	不
（仮称）東大和市総合福祉センターの早期建設を求める陳情	○	○	○	○	×	○	○	趣
コードレス電話、携帯電話、無線LANに関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	趣
東大和市国民健康保険税の値上げに反対する陳情	×	×	×	○	×	×	○	不
ちよこバス路線復活に関する陳情	-	-	-	-	-	-	-	継
食料の自給力向上と、食の安全・安心の回復に向けて、食品表示制度の抜本改正について国への意見書提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	趣
東大和市議会の議員定数の削減を求める陳情	-	-	-	-	-	-	-	継

### 2月臨時会での議案等の結果

件 名	会 派 名							結 果
	公	政	自	共	民	策	無	
市長提出案件 10件								
専決処分の報告について（庁用自動車の物損事故による損害賠償）								報
専決処分の報告について（庁用自動車の人身事故による損害賠償）								報
東大和市特別職職員の給与等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可
東大和市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市一般会計補正予算（第5号）	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市下水道事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市土地区画整理事業特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	○	○	○	○	○	○	○	可
平成21年度東大和市後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	○	○	可
議員提出案件 1件								
東大和市議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可

会派名：P6「市政を聞く」の会派略称を、ご参照ください。  
 結果：報…報告 適…適任 可…原案可決 否…否決 趣…趣旨採択 不…不採択 継…継続審査  
 賛 否：○賛成 ×反対

## 6月議会は1日に開会予定 次号の市議会だよりは8月1日発行予定



古紙配合率70%再生紙を使用しています



この印刷物は大豆由来のインキを使用しています。